

沼 総 審 答 申 第 1 号

令和元年 12 月 10 日

沼津市長 頼 重 秀 一 様

沼津市総合計画審議会

会長 小 泉 祐一郎

第 5 次沼津市総合計画基本構想について（答申）

令和元年 7 月 23 日付け沼企政諮問第 2 号をもって諮問のあった第 5 次沼津市総合計画基本構想について、慎重に審議した結果、別紙のとおり意見をまとめたので答申します。

答 申（案）

人口減少や少子高齢化が急速に進行する中、沼津市においてもその対応と適応については重要な課題として挙げられる。

諮問を受けた「第5次沼津市総合計画基本構想（案）」については、まちづくりの主役である「人」を中心に据え、その繋がりや互いの尊重、そして郷土愛から能動的な活動を促し、行政と市民が一体となってまちづくりの動きを加速化させていこうという積極的な姿勢が明確に掲げられ、大いに評価でき、その内容は概ね妥当と認められるものである。

これに当審議会の意見やパブリックコメント等を考慮して「第5次沼津市総合計画基本構想（修正案）」として取りまとめたので、今後の施策の計画策定に当たっては、この案に十分配慮いただくこと、及び審議の過程で出された下記の意見、要望等を合わせて付して答申する。

記

- ① 心の豊かさや多様性を重視する価値観、他者の尊重など、時代の変化に伴い人の在り方や関わり方なども変容している。子どもから高齢者までが自分らしく生き、そして活躍できるための施策については、各分野において意識的に取り組まれない。
- ② まちの賑わいや活力は、住民の活動によりもたらされるものであり、その根底には郷土愛というべき「地域への誇り」が存在することから、「誇り」意識の市民への浸透や人づくりには、市民、行政一丸となって力を入れて取り組まれない。
- ③ 少子高齢化対策として、孤立化した子育てを防ぎ、地域社会のみならず、職場も含めた社会全体で支えていく取組について、積極的に推進されたい。また、今後進める都市基盤整備においても、公共交通の一層の充実を図るなど、人に優しいまちづくりの視点を大切にし、取組を推進されたい。
- ④ 持続可能なまちづくりにおいて重要となる産業の振興については、子どもたちの将来の市内就職に繋げるためにも、企業誘致だけでなく、既存の商業、工業、農林水産業の個々の振興はもちろん、異業種間の連携による産業創出などを検討されたい。
- ⑤ まちづくりの様々な分野が網羅されているところだが、沼津らしさや力を入れていく取組が、次代のまちづくりの担い手となる子どもたちや若者に対しても分かりやすく伝わりやすいものとなるよう、今後の基本計画等において検討されたい。